

今の思いをまとめよう
時を超える手紙

三年 組 名前

① 卒業を控えた時期に自分を見つめ直すため、「過去の人物」か「未来の自分」を宛先として、今の思いを手紙の形式でつづっていきよう。そのために、まずは手紙の宛先を決めよう。

手紙の宛先

〔過去の人物名、または「〇年後の自分」と書く。〕

★ 「過去の人物」なら、例えば歴史上の人物や作家などで、尊敬したり、共感したり、心に残っていたりする人物を選ぶとよい。

★ 「未来の自分」なら、〇年後の自分がどんな人物になっているかを想像してみよう。

② 手紙に書く内容を考えていくため、中学校生活を振り返ったり、将来を展望したりして、思い浮かぶことを簡条書きで書き出してみよう。

中学校生活を振り返って	将来を展望して

★ 「過去の人物」への手紙なら、その人物を知ったきっかけや、どんなところに心をひかれたのかも挙げてみるとよい。

★ 「未来の自分」への手紙なら、将来取り組みたいと思うこととその理由や、きっかけとなった出来事も挙げてみるとよい。

★ ②で挙げたことの中から、何を中心にしてまとめるかを考えて、材料を削ったり追加したりしながら、便箋などに手紙を書こう。（いったん下書きをして、推敲したうえで清書しよう。）